

山口県中小企業団体中央会
Small Business Associations of the Yamaguchi Pref.

中央会やまぐち

特集 「第73回中小企業団体全国大会」を開催

Close Up組合 山口県鉄構工業組合
中央会TOPICS
組合TOPICS
景況動向



12

2021
DEC

Vol.764



第73回 中小企業団体全国大会

人を「絆ぐ」・組織を「結ぶ」・地域を「励ぐ」～ポストコロナは変革の時代。連携と革新で躍進する中小企業へ！～



安価・安定なエネルギー！ 原材料供給体制の確立

震災復興・豪雨風水害対策の拡充

万全な資金繰り対策・消費喚起対策による早期景気回復

デジタル化・事業再構築等の投資支援策の拡充・強化

実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

中小企業組合等連携組織対策の拡充



代表理事
益田和男 氏

Close Up 組合

クローズアップ

山口県鉄構工業組合

〒753-0074 山口市中央4-5-16
山口県商工会館2階
TEL 083-924-6364
FAX 083-924-5225
URL <http://www.y-sfab.com/>
代表理事 益田 和男 (株式会社マスタ鉄工 代表取締役)

未来を創る確かな技術と品質で

昭和49年5月、鉄骨製作事業者100名にて山口県鉄構工業組合を設立、当時オイルショックにより鉄骨業界も不況に見舞われるなか、相互扶助、組合員の経営安定と業界の発展・技術向上に努めてきました。

苦境の中からスタートし、その精神を今も受け継いでいます。コロナ禍で受注の主力となる中小規模物件の建築延期・中止がありますが、感染症対策を徹底しつつ、景気を持ち直し気運のもと、組合員同士助け合いながら仕事をこなしています。

○建築物の安全を担う鉄骨

鉄骨の品質は建築物や構造物の安全性に大きく関わり、鉄骨製作の品質管理能力と技術力が有効に機能することによって安全性が確保されます。このため、鉄骨製作工場で作成される建築鉄骨の品質保証（特に溶接部）の信頼度を評価し、評価結果に基づき国土交通大臣が認定する制度があります。

工場認定では品質管理体制や製作実績および研究開発能力等厳正に審査・評価され、建築規模や使用する

鋼材等により5つのグレード（SHMRJ）に区分されます。上位グレード取得により受注できる案件が広がるため、組合では組合員の認定取得に向けて様々なサポートをすると共に技術・品質の向上に取り組んでいます。

○人を育てる企業を育てる

組合では教育研修事業に力をいれており、生産技術や原価・労務管理、安全対策など各種講習会を行っています。製作現場では女性の活躍も期待しており、全国団体がPR動画「鉄骨ガール」「鉄骨Female」を製作し、県内の大学、高校、各種学校へ仕事の魅力のPRを行っています。この活動は青年部が行っており、次代を担う人材育成と業界団体として連帯を深めることに繋がっています。

また組合員従業員の永年勤続者表彰やコロナ禍でのIT技術活用など行っています。

組合に入会してよかった！と思っただけのような事業活動を心がけています。

建築規模	制限なし					
	500㎡以下	3000㎡以下	制限なし	制限なし	制限なし	
20m	3F	4F	5F	6F	7F	
13m	2F	3F	4F	5F	6F	
10m	1F	2F	3F	4F	5F	
使用鋼材	グレード	J	R	M	H	S
	種類	400N	490Nまで	490Nまで	520Nまで	制限なし
	板厚	16mm以下	25mm以下	40mm以下	60mm以下	制限なし
	通しダイヤフラム	490Nまで 22mm以下	32mm以下	50mm以下	70mm以下	制限なし
	ベースプレート	490Nまで ※50mm以下	※50mm以下	制限なし	制限なし	制限なし

※ 溶接方法・鋼種に応じて、最大75mmまで



全国鉄構工業協会QRコード

「第73回中小企業団体全国大会」を開催

全国中小企業団体中央会・神奈川県中小企業団体中央会は、11月25日(木)、「パシフィコ横浜 国立大ホール」(横浜市)において、萩生田光一経済産業大臣等の臨席の下、「第73回中小企業団体全国大会」を開催、全国から中小企業団体の代表者約1,600名が参集し、山口県からは和田会長を始め10名が参加しました。

本大会では、多数のご来賓のご出席を賜り、萩生田光一経済産業大臣、後藤茂之厚生労働大臣(ビデオメッセージ)、武部新農林水産副大臣、関根正裕商工中金代表取締役社長より祝辞を頂戴した後、黒岩祐治神奈川県知事、山中竹春横浜市長より歓迎のご挨拶を頂戴しました。

大会は、坂倉徹神奈川県中央会副会長が議長に、平栄三千葉県中央会会長、石丸忠重長崎県中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、国等は、「中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進



支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」について取り組むよう決議しました。

また、本大会の意義を内外に表明するため、碓谷友貴神奈川県青年中央会会長が、「大会宣言」を高らかに宣し、満場の拍手の下、採択されました。(次頁参照)

これと併せて、本大会では、優良組合(35組合)、組合功労者(76名)、中央会優秀専従者(20名)の表彰が執り行われました。本県からは、組合功労者として、城英明氏(山口県電気工事工業組合理事長)、河崎静生氏(徳山卸商業団地協同組合理事長)が受賞されました。

次期全国大会については、2022年11月10日(木)に、長崎県において開催することと決定しました。



森洋全国中央会会長



萩生田光一経済産業大臣



河崎静生氏



山口県からの出席者

大会宣言

本日、中小企業団体の代表は、“人を「^{つな}ぐ」・組織を「^{むす}ぶ」・地域を「^{つむ}ぐ」～ポストコロナは変革の時代、連携と革新で躍進する中小企業へ！～をテーマに、ここ神奈川県横浜市に集い、約三万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議した。

中小企業・小規模事業者、とりわけ、飲食・宿泊・サービス業等の事業者や、これらの関連事業者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を必死に受け止め、堪え忍んできた。その努力が一刻も早く報われるよう、国等に対して、効果的なコロナ対策、医療体制の整備を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、万全な資金繰り対策・消費喚起対策による早期景気回復
- 一、デジタル化・事業再構築等の投資支援策の拡充・強化
- 一、震災復興・豪雨風水害対策の拡充
- 一、実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、安価・安定なエネルギー・原材料供給体制の確立
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

本日参集した一同は、ポストコロナの変革の時代を切り拓くべく、積極果敢に行動することを決意する。右宣言する。

令和三年十一月二十五日

第七十三回中小企業団体全国大会

中央会TOPICS

山口県の施策・予算に関する要望書を提出

山口県中小企業団体中央会

中央会では、県下7か所で開催した移動中央会等において、会員の皆様からお聞きしたご意見・ご要望を取りまとめ、国や山口県の施策・予算に反映していただくよう、要望活動を展開しているところです。

その一環として、11月1日(月)、山田副会長、田村副会長、坂本専務理事が村岡山口県知事を訪ね、直接要望書を提出しました。知事からは、「県施策への協力に対し感謝する。要望内容については、施策・予算検討の参考にしたい」との言葉をいただきました。

また、11月12日(金)には、先に実施した自由民主党山口県支部連合会への要望に続き、公明党山口県本部の政策懇談会に坂本専務理事が出席し、要望書を提出するとともに意見を述べました。

今後とも、会員の皆様の声を、国や県にしっかりと届けてまいります。



村岡県知事へ要望書提出



公明党山口県本部へ要望書提出

※要望内容の詳細は、山口県中小企業団体中央会のホームページをご覧ください。

『虐待防止全力宣言企業』登録証交付式

山口県中小企業団体中央会

本会では、社会全体で子どもを見守り、児童虐待の根絶を図るため、全国的に増加傾向にある児童虐待の防止に全力で取り組むことを目的とした、『やまぐち虐待防止全力宣言企業』への登録をしました。

この取り組みは、「日本創生のための将来世代応援知事同盟」の加盟県共通の取り組みである「子どもを虐待から守ろうプロジェクト」の一環として実施され、登録団体は、事業活動の中で、子育て家庭を見守り、異常があれば関係機関に報告するなどして虐待防止に協力していきます。

本会としても、会員組合等への呼びかけや職員の講習会等への参加を通じてこの活動に協力してまいります。

また、本会の会員組合である「山口県商店街振興組合連合会」では、商店街での見守り活動で、「赤帽山口県軽自動車運送協同組合」では、配送中の見守り活動で、それぞれこの活動に協力するとして、同様に宣言企業に登録されました。

(連携支援第二課 花田)



『FOOD STYLE Kyushu 2021』に出展

山口県中小企業団体中央会



11月10日(休)、11日(休)の2日間、福岡県「マリンメッセ福岡」で開催された『FOOD STYLE Kyushu 2021』に、山口県内の農産加工品などを製造している企業組合が出展し、本会も出展支援をしました。

このイベントは、小売・中食・外食業界の課題やニーズを解決するため、九州を中心に全国から訪れた出展者と企業をマッチングすることを目的としています。

本会ブースでは、はちみつやお菓子、お茶などを紹介し、山口県の企業組合の魅力を来場者に広く伝えるとともに、バイヤー等から個別の商談もあり、意義のあるものとなりました。

(連携支援第一課 竹中)

動画活用セミナー・動画制作講座を開催

山口県中小企業団体中央会

本会では、情報化推進研修として動画活用セミナーおよび動画制作講座を開催しました。

jojofilm映像クリエイター高松博由樹氏を講師に招き、動画活用セミナーでは情報ツールとしての動画の強みや動画の効果的な活用方法などについて、様々な事例を基に学びました。また動画制作講座では撮影・編集における注意点が紹介され、スマートフォンアプリを用いて手軽に動画を編集する技法を実際に体験しながら学びました。

講義では、動画のテーマを明確に定め、正しく撮影・編集を行い、適切な媒体で発信することの重要性が強調されました。参加者の方からは、撮影機材や編集アプリの使い方についての質問が多く行われ、動画制作への意欲がうかがえました。

(管理・企画課 宇多村)



やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を見学

山口県中小企業団体中央会

山口県は、11月1日(月)、山口市のニューメディアプラザ山口内に、相談から実現までのDX推進をフルサポートできる施設として「やまぐちDX推進拠点 Y-BASE (ワイ・ベース)」を開設しました。

本会では、ご案内をいただき、早速、11月2日(火)と9日(火)に、坂本専務理事と全指導員が、施設見学と設備体験をしました。

当施設には、複数人で同時かつリアルタイムにVR(仮想現実)を体験できる設備や、全国でも初という、離れた場所からでも同時に資料の編集や操作が可能な「遠隔空間共有システム」、AIを使った画像処理技術や非接触でも触覚を感じながら操作できる技術が体験できるデモコーナーといった最先端の設備が充実しています。

また、専門スタッフによるDXのコンサルティングや技術支援を受けられるほか、ICT環境や技術サポート、DXイベントや勉強会を通して共に課題解決を目指す仲間との出会い・交流の場としても活用できます。

会員の皆様には、DXの推進検討に当たり、本施設を積極的にご活用されることをお勧めします。

当施設の詳細はHP <https://digitech-yimg.org/y-base/> をご覧ください。



1F 「VR映像体験コーナー」



10F 「遠隔空間共有システム」

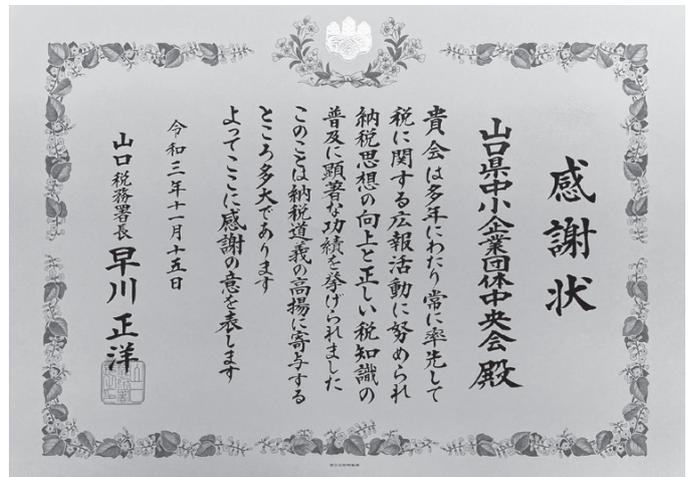
山口税務署から、感謝状の贈呈

山口県中小企業団体中央会

11月15日(月)、本会では、山口税務署から、税に関する広報活動に努め、納税思想の向上と正しい税知識の普及等、税務行政についての多年にわたる功績があったとして、早川山口税務署長から本会和田会長に、謝意を伝えられた後、感謝状をいただきました。



中央会和田会長と早川山口税務署長



中小企業経営者のみなさまへ

国が準備した
セーフティネット

安心の材料を
ご提供します。

※詳しくは、ホームページまたは
パンフレットをご覧ください

Be a Great Small.
中小機構

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

●契約者貸付けの利用が可能
契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

●共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

24時間・
365日
お問い合わせ
可能に
なりました

加入資格・手続きについてのご質問を
チャットでご回答いたします。
詳しくは右記のQRコード又はホーム
ページからご確認ください。



小規模共済 検索

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額(最高8,000万円)」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年~7年(据置期間6か月を含む)で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金(法人)または必要経費(個人事業)に

掛金月額額は、5千円~20万円の範囲内(5千円単位)で自由に選べます。



経営セーフティ共済 検索

山口県女性活躍推進知事表彰を受賞

企業組合うずしお母さんの店

当組合の宇野理事長は、令和3年度山口県女性活躍推進知事表彰の「女性のチャレンジ賞」を受賞され、10月26日(火)に県庁にて表彰式が行われました。

この賞は、地域活動等にチャレンジすることで活躍する女性を表彰するもので、宇野理事長の任意グループ時代から現在までの17年間の活動が評価され、今回の表彰に至りました。当組合では、鯛寿司を中心とした弁当や惣菜、農産加工品などを製造しており、地域の女性の働く場の創出や、地元食材の利用による地域活性化、移動販売を通じた見守り活動など、地域活性化につながる活動をしています。若手の育成も行っており、今後ますますの活躍が期待されます。
(連携支援第一課 竹中)



感謝とコロナ終息を願い『毛髪供養祭』を開催

山口県理容生活衛生同業組合

11月1日(月)、床屋発祥地とされる下関市の亀山八幡宮にて、大切な頭を守る毛髪に感謝を込めて供養し、お客様の健康と業界の発展を祈願する『毛髪供養祭』を開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小し、組合員・関係者25名が参列、県内の組合加盟理容店から集められたお客様の毛髪を祭壇に供え、吉永理事長より玉串を奉納しました。



鎌倉時代後半、京都の武士藤原晴基が宝刀紛失の責任をとり息の采女亮(うねめのすけ)とともに蒙古襲来で武士が集結していた下関に至り、髪結いをはじめたのが床屋の始まりとされています。采女亮が開いた店には床の間に設えられ、亀山天皇を祀る祭壇と藤原家の掛け軸があったことから、人々は「床の間のある店」→「床場」→「床屋」と呼ぶようになったとされています。

コロナ禍、各店とも苦しい時期を耐え、少しずつ持ち直しつつあり、感謝とともにコロナ終息を願いました。

(連携支援第二課 前田)

ものづくり補助金の活用に向けて

山口県豊工業組合青年部

11月14日(日)、周南市サンルート徳山にて「ものづくり補助金活用研修会」を開催しました。ものづくり支援室の弘中コーディネーターを講師に、今回のものづくり補助金の変化ポイントである①通年で公募、②事業実施期間が約10か月に倍増、③添付書類の簡素化、④中古設備が補助対象可能、⑤初めて取り組む事業者優遇等について説明を受けました。通年で公募されていることから、何度か不採択になっても申請書をブラッシュアップすることでその後、採択に繋がった事例も紹介され、審査ポイントを意識して事業計画を練る必要性についても触れられました。

説明後、6社が個別相談に臨み、自社の計画の概要に対するアドバイスや加点項目事項の確認など、熱心に相談されていました。

(管理・企画課 平田)



「やまぐちコッペパン」消費者座談会を開催

山農協同組合

現在、県内の学校給食パンは小麦と米粉が配合された県産原料100%で提供されています。当組合はこれをPRするため、組合員が製造した県産小麦粉・米粉を活用し、学校給食をモチーフにした地産地消推進パン「やまぐちコッペパン」を道の駅きらあじすのベーカリーと共同開発し、11月5日(金)、消費者4名を迎えて消費者モニタリング座談会を開催しました。

消費者には同コッペパンと地元の特産品（蜂蜜、ピクルス等）を事前に郵送し自宅でアレンジをお願いしており、「ピクルスとクリームチーズをはさんだ」「板チョコを使ってチョコバナナパンに」等の様々な食べ方が紹介されました。

続いて、このパンをどのようにPRしたら良いかについてのワークショップでは、SNSフォトコンテスト、焼き上がり時間を事前告知、飲食店とのコラボ等のアイデアが発表されました。（管理・企画課 平田）



うに供養祭を開催

山口県うに協同組合

山口県うに協同組合では、10月20日(木)、下関市の赤間神宮で、うにへの感謝と来季の豊漁、商売繁盛を祈願する「うに供養祭」を開催しました。昨年に続き、新型コロナウイルスの影響のため、規模を縮小し、関係者10名が参列しました。



ムラサキウニの放流

当日は神事を執り行った後、海岸に移動して、豊北町産のムラサキウニ60個を関門海峡へと放流しました。

小川理事長は、「イベントを通じて下関の粒うにを再認識してもらうとともに、地域経済及びうに業界の発展に精進していきたい」と述べられました。

当組合では、若い世代への消費拡大を狙い、平成25年から瓶詰うにを使った料理レシピコンテストを開催しており、熟練主婦から若い学生の方々のアイデアが詰まった面白いレシピも発案されています。

（連携支援第一課 水野）



低圧電気取扱を学ぶ

山口県電気工事工業組合

11月16日(火)、山口市のカリエンテ山口にて、低圧電気取扱を学ぶために、株式会社ひろでん 代表取締役 深田 康裕氏を講師に迎え講習会を開催し、組合の山口・防府・宇部支部より32名が受講しました。

「低圧」とは高圧電気に対し相対的に電圧が低いこと（60A以下・50kW未満）であり、危険ではないと言う意味ではありません。取り扱いを間違えると大きな事故を招きます。

作業員自身の安全を守るため、低圧電気取扱の基礎知識、関係法令、電気設備（配電設備・変電設備・配線）や安全確実に作業するための用具・手順・管理、事故があったときの救急措置などを学びました。

（連携支援第二課 前田）





月次景況調査結果

令和3年10月期

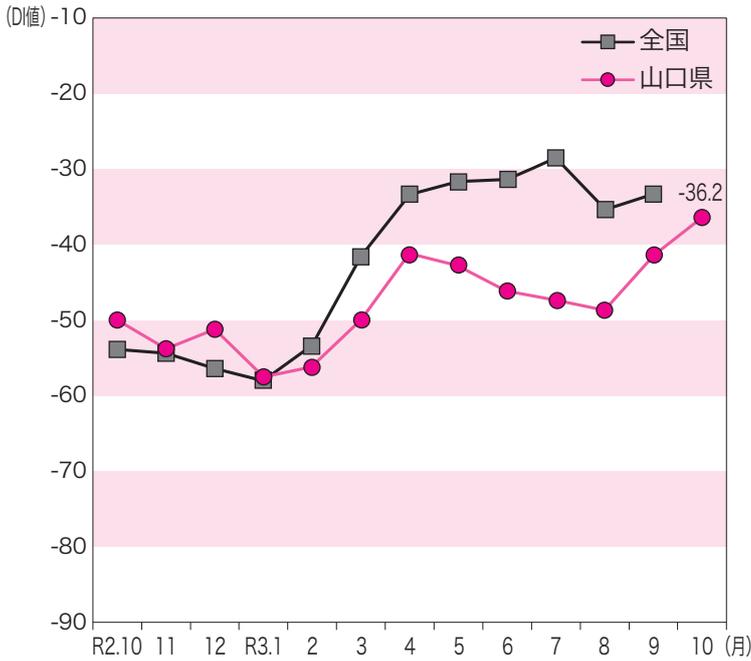
新型コロナウイルス感染者の大幅な減少に伴い、人や物の動きが出てきたことから、飲食・宿泊や商店街の対面サービス、卸売業等を中心に景況感が好転し、10月期の景況DI値は先月に続き上昇した。

一方、食料品や産業用機械等の製造業及び建設業等においては、原材料・資材価格の高騰や外国人労働者等の人手不足が続き、また、運輸業等においては、原油価格高騰の影響が危惧されることから、先行きへの不透明感がある。

多くの業種において、経営状況は未だコロナ禍前には戻っていないことから、感染状況がこのまま落ち着き、回復基調が続くことを期待している。

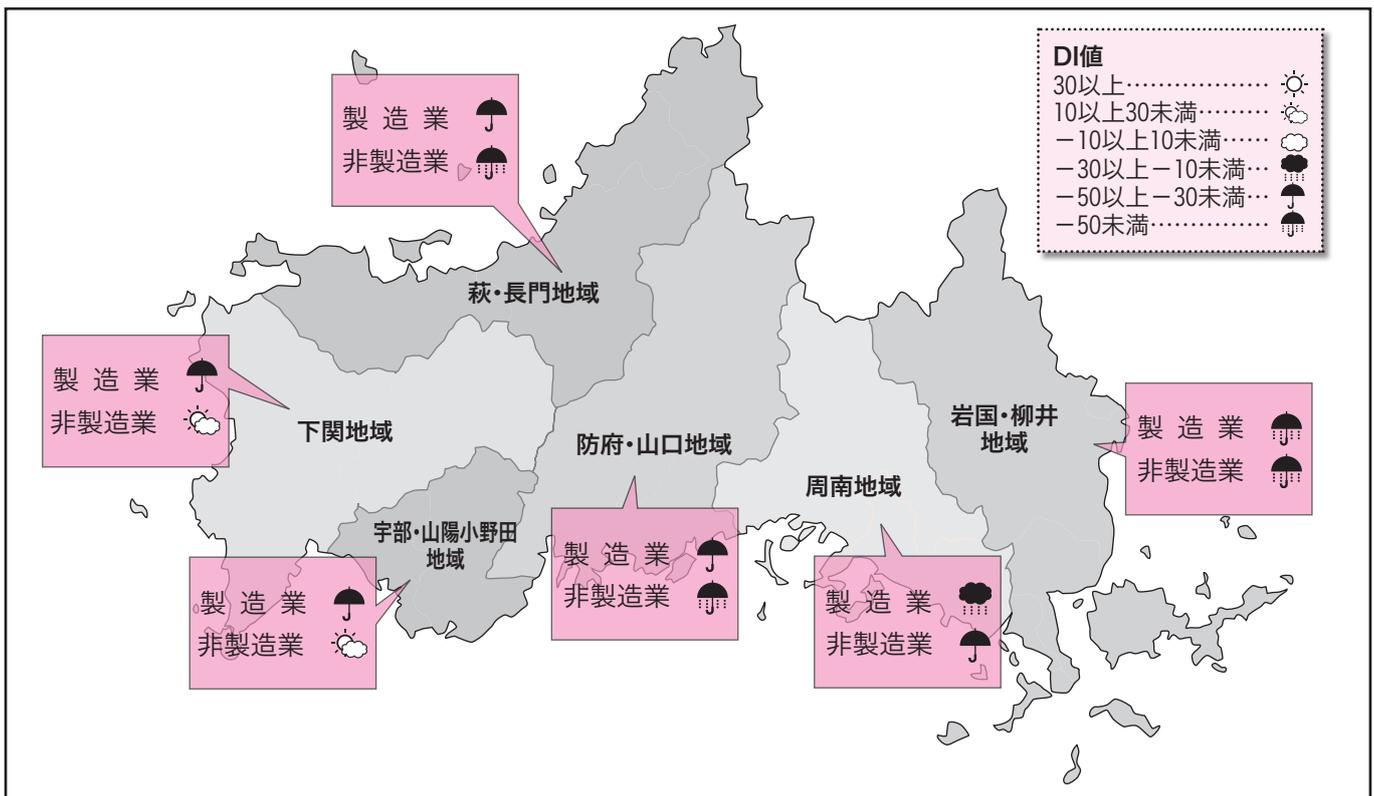
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	↗
	繊維工業	☔	→
	木材・木製品	☔	↘
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	↗
	一般機器	☔	↘
	輸送機器	☁	→
非製造業	卸売業	☁	↗
	小売業	☔	→
	商店街	☔	→
	サービス業	☔	↗
	建設業	☔	↘
	運輸業	☔	→
	その他	☔	→



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年比で若干、観光土産、企業の土産需要が戻ってきた。(パン・菓子製造業) ○ 漁業・水産加工業の後継者がいないことが大変心配。(水産食料品製造業 長門市) ○ コロナ感染者が減少傾向だが、前年の20%割れの売上。現在、原料不足・原料高騰が懸念材料だが、温暖化等の影響も懸念している。(水産食料品製造業 下関市) ○ コロナの自粛の影響から農産物の在庫が増え、米の仮渡金価格も下落、一般取引価格も15~20%の下落。売上高の大幅な下落が決定的となった。(精穀・製粉業)
	繊維工業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ前、年4回の外国人技能実習生の入国が、今年は1回のみ。(下着類製造業) ○ 各種輸入資材の入荷が不安定な状況である。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の平均売上額は、令和元年10月(コロナ前)に比べ5%の減少、令和2年10月(コロナ禍)と比べ20%の増加。組合員の売上は、増加傾向と依然減少とが混在。建築業界からの注文が増大しつつも人員不足により対応難。(製材業・木製品製造業)
	印刷	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍、設備投資は低調だが、業態変更や省力化、効率化に取り組み、従来では考えられなかったビジネスワークが実現可能となり、「働き方改革」が進んだ。
	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国の電源供給問題で、中国製品の値上げの知らせが届いたが、組合員は自社加工をしているので問題は無い。(石工品製造業) ○ 出荷量は前月比121%、前年同月比97%。価格も安定。(生コンクリート製造業) ○ 陶器市と物産フェアに出展。売上は予想を下回った。(陶磁器・同関連製品製造業)
	一般機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末にかけて、前年と比べると仕事量がかかなり減っている模様。(下松市) ○ コロナ禍による生産調整がマイナス要因となっており、仕入れ単価(原材料、購入品等)が上昇し利益が圧縮されている。人手不足が続いているが、受注量は多く、納期の調整に苦慮している。社員に負担がかかり、解決策がない。(防府市)
	輸送機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係の現状は順調だが、コロナ禍、国内外とも2~3年先の新車両計画が不透明。半導体は、引き続き好調に推移している。(鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 景気は前年より回復したが、「ふく」は天然、養殖とも品薄。(生鮮・魚介卸売業) ○ コロナ禍の影響により、売上が伸びず、資金繰りに懸念がある。(各種商品卸売業)
	小売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急事態宣言解除や時短営業解除等で徐々に客が増えている。(化粧品小売業) ○ 米価下落による農業者の購買意欲の低下が見受けられる。(農業用機械器具小売業) ○ 前年同月比95%の売上。半導体不足で冷蔵庫他の入荷が遅延。(機械器具小売業) ○ 10/24時点の売上は前年同月比▲14.5%。前年はGoToトラベルの特需で令和元年と比べ20%以上と大幅に伸びたので、コロナ前に戻ったともいえる。(各種商品小売業)
	商店街	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ対策関連規制が解除になり、ムラはあるものの、飲食店、小売店が賑いを取り戻しつつあるが、通常を取り戻すには、まだ長い時間が必要。(岩国市) ○ 商店街の通行量は多少増えてきたが、外来者の購買力は上がっていない。飲食店は先月より20%位は増加している模様。市の商品券配布に期待している。(萩市)
製 造 非 業	サービス業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナも収束してきており、前年同月比120%の売上。(美容業) ○ 売りたいくても売れる車がない大変な事態。先が見えない経営の状況。(自動車整備業) ○ 客が少しずつ戻っている。年末に向け活気が戻ることに期待。(飲食業) ○ 前年はGoToの恩恵があったが今年は県民割で、前年の35%程度の売上。(旅行業) ○ ビジネス・団体予約が増加。各種クーポン割引は、客がアンケートの記入等の必要があり、フロントも自動精算機等使えず、煩雑になっている。(旅館業 下関市) ○ 入浴者数は前年同月と同数に留まり、売上高も前年並みである。管理費等の経費は燃料費等の値上がりにより増加し、収益に大きく影響した。(旅館業 長門市)
	建設業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共工事の手持工事がこの2ヶ月で急回復し、通常の量に戻ってきた。(左官業) ○ 原材料、副資材(銅線、釘、板金部品)等の品不足、値上がりりが顕著。加えて、石油の値上がりにより瓦の値上げが待ち受けている。(屋根工事業) ○ 令和4年の仕事がほぼ無い組合員もある。鋼材、ボルト、デッキの手配が困難なうえ材料費が値上がり、価格に反映されないため加工費が低下。(鉄骨・鉄筋工事業)
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合の輸送取扱高は前年同月比70%程度の見込。(一般貨物自動車運送業 防府市) ○ 小物雑貨品・生活用品、製造業関係の荷物も増加している一方で、軽油の高騰が続いており、利益を圧迫している状況である。(一般貨物自動車運送業 宇部市) ○ タクシーチケットの10/1~20分取扱金額は、令和2年と比べ▲1.7%。コロナ感染者の減少で需要が回復しつつあるが、繁忙期の年末に、乗務員不足、燃料費の高騰、第6波の発生などが危惧される。(一般旅客自動車運送業)
	その他	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人技能実習生の入国を待てない事業所が発生しても、新たな事業所より申出があるので、監理団体としては現状維持の状態である。(介護事業)

原油価格上昇に関する特別相談窓口設置及び支援対策のお知らせ

特別相談窓口の設置

本会では、原油価格上昇の影響により資金繰りに困難を来している中小企業者を対象として資金繰りや経営に関する相談を受け付ける相談窓口を設置しました。ご相談等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

【ご相談先】

山口県中小企業団体中央会

(担当：前田)

TEL 083-922-2606

国、県の支援対策

経済産業省及び山口県では、原油高の影響を受けた中小企業・小規模事業者に対する資金繰り支援策を行っています。原油高でお困りの場合は、ぜひ積極的にご活用ください。

〈経済産業省〉

1. 特別相談窓口の設置
 2. セーフティネット貸付の運用緩和
 3. 下請事業者に対する配慮要請
- 詳細につきましては、下記HPをご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2021/11/20211102003/20211102003.html>

〈山口県〉

1. 特別相談窓口の設置
 2. 金融支援（中小企業制度融資）による対応
 3. 下請取引適正化への対応
- 詳細につきましては、下記HPをご覧ください。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16300/oshirase/202111040001.html>

商店街イベント情報♪

★小野田駅前商店街振興組合

『第84回街中フリマ』

総額約35万円の景品が当たるガラポン抽選会を開催。おせちセット・自転車・北海道直送海産物・お米等々用意してお待ちしています！

開催日：12月12日 8時～12時

★徳山商店連合協同組合

『歳末えびす大感謝祭』

歳末の売り出しにあわせて豪華商品のあたるガラポン抽選会を開催！12月1日～（予定）買い物金額に応じた抽選券が発行されます。

各地でイルミネーションイベントが開催されます♪

★サンモール小月商店街振興組合：11月末～2月末

★宇部中央銀天街協同組合：11月下旬～12月末 芝生広場でオープンカフェ、ステージイベントも開催

★岩国駅前本通商店街振興組合：12月上旬～1月下旬 イベントやクリスマスマーケットなども開催
岩国市中通商店街振興組合

※イベントの詳細は、各商店街へお問い合わせください

このイベントは、山口県商店街振興組合連合会の小規模事業者応援キャンペーン補助金を活用しています。

「組合なんでも相談日」を設置しました

山口県中小企業団体中央会では、毎月第1・第3水曜日を「組合なんでも相談日」として、組合制度他についてのなんでも相談を受け付けています！まずはお気軽にご連絡ください。

●**設定日** 毎月第1・第3水曜日

●**相談方法** 電話、オンライン会議、メールなど

※オンライン会議の場合は、まずは電話もしくはメールにてご連絡ください。

●**受付内容** 組合とは？任意組織の法人化を検討しているのですが？など、疑問を感じていらっしゃる事があれば、なんでもご相談ください。

●**連絡先** 山口県中小企業団体中央会 電話083-922-2606 メール ycdc@axis.or.jp

●**その他** 設定日以外でも営業時間内（土日祝日除く 8:30～17:15）であれば電話連絡可能です。メールでの質問は24時間受け付けています。お気軽にご連絡ください。



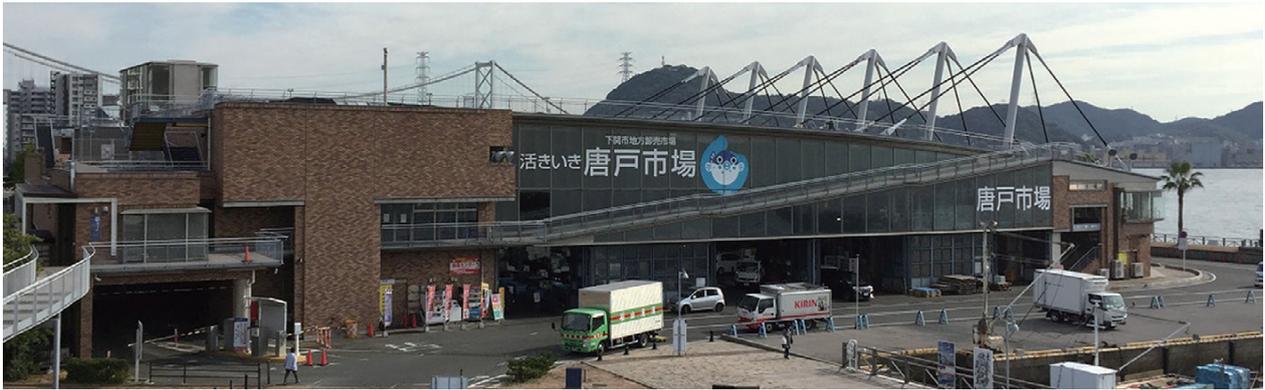
私のおすすめ紹介します!

企業組合ワーカーズコレクティブ^{えん}縁

理事長 山根 映子さん

のおすすめ

関門の台所「唐戸市場」の
飲食イベント“^い生きいき^ば馬関街”



唐戸市場

私のおすすめは、下関が誇る新鮮な魚介類を扱う関門の台所「唐戸市場」の飲食イベント“生きいき馬関街”です。このイベントは、金・土・日・祝日に開かれ、お寿司や海鮮丼などが市場に並び、活きの良い海鮮と市場ならではの活気を味わうことができます。観光客向けの市場という感じで、誰でも気軽に好きな店で食べたい物を買える雰囲気がとても大好きです。天気の良い日は海沿いで食べることもでき、唐戸市場の近くにはカモンワーフや海響館もありますので、お近くに行かれた際はぜひ行ってみてくださいね!

唐戸市場の飲食イベント 「生きいき馬関街～海鮮屋台など多数出店～」

住所：山口県下関市唐戸町5-50

開催時間：金・土 10:00～15:00

日・祝 8:00～15:00

ホームページ

<http://www.karatoichiba.com/bakangai/>



生きいき馬関街の様子